

「認知症」早めのご相談を!!

「認知症」は、誰にでも起こりうる「脳」の病気です。早期に診断し上手に対応することで、進行を遅らせたり、これからの生活に備えることができます。「年のせい…。」と受診をためらわず、不安なことがある時には早めにご相談ください。

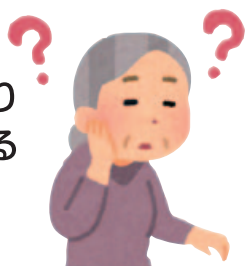
お気軽に
ご相談下さい



ひょっとして 認知症? 気づきのポイント!

記憶

同じことを何度も話したり
同じ物を何度も買って来る
ようになった



意欲

何となく元気がなかったり
興味や関心を示さなくな
った



実行

今までできていたことが
できなくなったり、慣れた
道具の使い方がわからな
くなった



不安

ささいなことで
怒ったり、不安を
抱くようになった



思いあたることがあるときは、かかりつけ医または市町村の相談窓口
(地域包括支援センター)までお気軽にご相談ください。

“加齢に伴うもの忘れ”と“認知症によるもの忘れ”の違い

「人の名前が出てこない」「ものの置き場所を忘れる」などといったもの忘れは、年をとれば誰もが経験します。たとえば、昨日の朝食のメニューを思い出せないことはよくありますが、認知症になると、朝食を食べたこと自体を忘れ、「朝食を食べてない」と言うことがあります。

加齢に伴うもの忘れ

- 体験したことの一部を忘れる
- もの忘れを自覚できる
- ヒントを出すと思い出せる
- 年次や日付、曜日を間違えることがある
- 日常生活に大きな支障はない

認知症によるもの忘れ

- 体験したこと自体を忘れる
- もの忘れを自覚できない
- ヒントを出しても思い出せない
- 年次や日付、季節がわからなくなる
- 日常生活に支障が出る